

SDGs貢献への考え方

当社グループのSDGsの取り組みは、「SDGsの取り組み＝社会のニーズ＝当社の事業目的・基本方針（経営理念）」としてほぼ等しくつながっているという理解のもとに行われています。SDGsは当社グループがプラスチックメーカーとして進むべき方向を示してくれる拠り所の一つであると考えています。SDGsは17の目標と、それらを達成するための169の具体的なターゲットで構成されていますが、当社グループの事業分野、強みが生かせる目標を重点領域目標として「6+1」と定めています。サステナビリティ推進に向けた経営の重要課題として、環境・社会価値の創造を挙げており、その中でSDGs貢献に取り組んでいます。当社グループの製品・技術・活動のうち、SDGsに貢献するものをSDGs貢献製品・貢献技術・貢献活動として認定しています。ターゲットが適切に選択されていること、具体的な説明が実データもしくは公開情報に基づき客観的な数値により示されていることを判定基準とし、SDGs推進委員会で認定し、サステナビリティ推進委員会で承認を行っており、売上収益におけるSDGs貢献製品比率は年々高まっています。



SDGs推進体制（ガバナンス）

当社グループは、環境・社会価値の創造を経営の重要課題（マテリアリティ）に掲げ、製品・技術・活動を通じてSDGsへの貢献に取り組んでいます。この取り組みを推進するため、サステナビリティ推進委員会の下に「SDGs推進委員会」を設置し、研究の初期段階からSDGsへの貢献を検討しています。また、現行製品についても継続的に議論を行い、研究等の視点から新たな価値の創出を目指しています。SDGs推進委員会の活動内容は、定期的にサステナビリティ推進委員会に報告され、その承認を受けています。さらに、重要な決定事項についてはサステナビリティ推進委員会から取締役会へ報告を行っています。



SDGs貢献製品・貢献技術・貢献活動認定の流れ・実績・目標

当社グループは2018年度より、製品・技術・活動のうち、SDGsに貢献するものをSDGs貢献製品・貢献技術・貢献活動として認定しています。

【認定対象】

下記の（1）～（8）の認定対象を一つ以上満たすものを対象とする。

重点領域のSDGs目標

- （1）目標3：健康と福祉の促進に資するもの
- （2）目標7：エネルギー効率の改善、新エネルギー（蓄エネルギー含む）の実現に資するもの
- （3）目標8：働きがいと経済成長に資するもの
- （4）目標9：環境に配慮した技術の拡大、産業と技術革新の基盤に資するもの
- （5）目標12：廃棄物（食料を含む）、有害物質の削減や環境負荷低減に資するもの、リサイクル、省資源化の実現に資するもの
- （6）目標13：気候変動への対策、気候災害・自然災害への適応能力の強化に資するもの
- （7）目標14：海洋・海洋資源の保全・利用、海洋汚染の防止・削減に資するもので重点領域以外のSDGs目標
- （8）上記の目標3、7、8、9、12、13、14以外のSDGs17目標のうち、一つ以上の目標達成への貢献に資するもの

【2024年度実績】

売上収益 **2,024** 億円 売上収益比率 **66.4** %

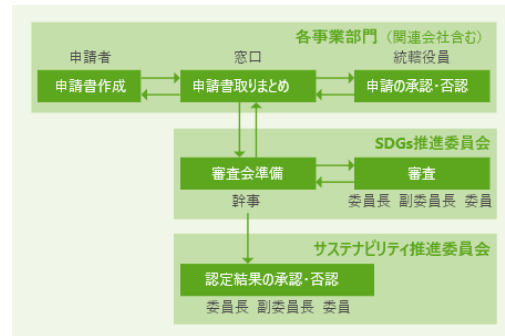
【目標】

2030年度売上収益比率 **70** %以上

【認定の流れ】

審査項目と判定基準

- 貢献についての具体的な説明：実データもしくは公開情報に基づき客観的に数値により示されていること
- 貢献するSDGs目標：適切に選択されていること



SDGs貢献製品・貢献技術の売上収益（連結）



※ 売上収益比率は、SDGs貢献製品・貢献技術の売上収益÷売上収益（国際会計基準ベース）により算定しています。

新たに認定された主なSDGs貢献製品、貢献活動

血中ゾニサミド濃度測定用試薬 リブリア® ゾニサミド

抗てんかん薬ゾニサミドの血中濃度を測定するための体外診断薬です。これまでのゾニサミド測定方法は分析時間が長く、専用装置が必要で、かつ病院内検査が難しく専門検査センターへの依頼が必要でしたが、本製品は、汎用自動機器によるラテックス免疫比濁法を用いた簡便な測定方法で、病院内の迅速測定（20分）が可能となります。当日に診断結果を出せるため、患者の再来院が不要で、また、投薬判断が迅速になるため、発作予防が強固になります。

3.d 健康危険因子の早期警告、危険因子緩和および管理

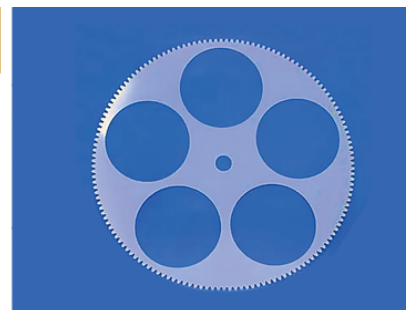


ウエハ研磨用キャリア材

本製品はウエハキャリア用のガラスエポキシ基板です。軽量で安価、また加工が容易な絶縁素材であり、研磨時に微小金属粒子が発生せず、保持孔にウエハ周縁部を保護するための緩衝材を必要としません。

耐摩耗性を改善（3倍）することで、従来より廃棄量の削減が可能です。

12.5 廃棄物発生的大幅削減



近隣小学校への環境教育活動（出前授業）

出前授業は、当社静岡工場の近隣の小学校を訪問し、企業が実施する環境活動などを紹介する取り組みです。この授業では、環境やSDGsを身近に感じてもらい、気候変動への対応や生物多様性の保全について、小学校の児童が主体的に考える機会を提供しています。

また、藤枝市、静岡産業大学と協力してオンデマンド教材を作成し、藤枝市内の小学校でいつでも授業が受けられるようにしています。

4.1 すべての子供に教育の提供

13.3 気候変動対応に関する教育



代表的なSDGs貢献製品

EBLデバイス

EBL (endoscopic band ligation) デバイスは、内視鏡の先端に装着し、下部消化管に生じた内痔核および大腸憩室出血点の結紮に使用されるデバイスです。入院期間は、EBL法を適用することで、従来のクリップ法と比較して、社会復帰までの期間を大幅に短縮可能です。

8.1 一人当たりの経済成長持続



コイルエンド用絶縁粉体塗料

本製品は、駆動モーター平角銅線の絶縁被覆に適用されます。市場実績材よりも低温硬化が可能です。硬化剤の設計により高Tgと硬化温度低減を達成しています。硬化温度を低減することで、硬化時のCO₂発生量を大幅に削減することが可能となります。

9.4 環境配慮技術拡大

12.4 化学物質の放出削減

13.2 気候変動対策



使用イメージ



塗装前



塗装後

Cove Light Panel による航空機軽量化

Cove Light Panel（内用間接照明ユニット）を使用することで、航空機の軽量化が可能となります。航空機の燃費が向上することで、CO₂の削減に貢献します。

7.3 エネルギー効率改善

9.4 環境配慮技術拡大

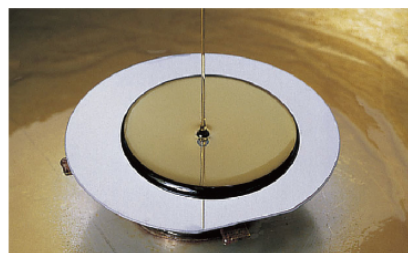
13.2 気候変動対策



パワー半導体用バッファコート材

パワー半導体の絶縁保護膜としてはこれまでネガ型バッファコートが使用されており、有機溶剤現像液が使用されていました。そのためポジ型バッファコートの課題であった下地材との密着性を改善、アウトガスの発生を解決することでパワー半導体に適用可能となりました。これにより、本製品を適用することで、現像機を有機溶剤からアルカリ水溶液へ置き換えることが可能となり、化学物質の放出削減に貢献します。

12.4 化学物質の放出削減



熱線カットポリカーボネートシート

「ポリカエース®」熱線反射グレードは特殊な熱線反射フィラーをポリカーボネート層に練り込むことにより、従来の熱線吸収グレードよりもさらに高い熱線カット効果を実現しました。(熱線カット率79%)

高い熱線カット効果によるプレート下部への熱低減が省エネルギー・快適性に貢献します。また、パネルは光沢のあるシルバー色調で幅広い用途に使用できます。

9.4 環境配慮技術拡大

13.1 気候災害・自然災害に対する適応能力強化

13.2 気候変動対策



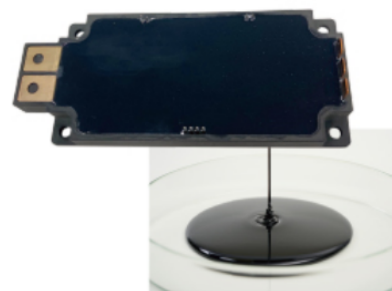
パワーモジュール用液状エポキシ樹脂

パワーモジュール（ケースタイプ）の封止を従来のシリコンゲルから本製品にすることで、素材が持つ高耐熱性と低線膨張係数により、常温から高温時の接合部材などへの応力が低減し、パワーモジュールの長期信頼性向上に貢献します。

7.3 エネルギー効率改善

9.4 環境配慮技術拡大

13.2 気候変動対策



イレウスチューブシリーズ

イレウス（腸管の狭窄・閉塞）に対して、鼻・肛門から挿入したチューブを介して腸管内の減圧・吸引を目的に使用される製品であり、特に早期イレウスに対する初期治療で改善が認められます。

未使用時に比較して、保存的治療から外科手術へ移行する割合を大幅に抑制することで患者の術後社会復帰、クオリティオブライフ向上に貢献します。

8.1 一人当たりの経済成長持続



防水シート一体型ソーラーアンカー

本防水アンカーは、防水施工後の取り付けを可能とし、施工が簡易となります。シートと一体化することで、防水の信頼性も高くシート防水と同じ保証年数と長期であり、かつ固定強度もソーラーパネル発電保証強度の2倍以上と十分な信頼性を確保でき、ソーラーパネルの設置信頼度の向上、それに伴う発電に貢献します。

13.1 気候災害・自然災害に対する適応能力強化

